

Asset Coordinator 6

データベース バックアップ/復元 手順書 - SQL Server 2012 -



変更履歴

日付	版数	頁	変更内容
2015.11.13	1	21	初版リリース
2016.06.21	2	21	SP 表記を修正

目 次

はじめに	3
SQL Server Management Studio のインストール	4
バックアップの手順	8
復元の手順1	3

はじめに

本手順書では、Microsoft SQL Server 2012 Management Studio Express(以降 SQL Server Management Studio) の機能を利用して、PALLET CONTROL Ver.6.3 以降に搭載された Asset Coordinator 6(以降 Asset Coordinator 6.3)のデータベースをバックアップおよび復元する手順を説明します。

【注意】

・バックアップおよび復元対象の Asset Coordinator のバージョンは Asset Coordinator 6.3 となります。

・バックアップを使用して復元する場合、バックアップ時の Asset Coordinator 6 と復元先の Asset Coordinator 6 のバージョンが 同じである必要があります。バージョンが異なった Asset Coordinator 6 に復元した場合、正常に動作しませんのでご注意くだ さい。

バージョン情報は、{Asset Coordinator 6 インストール場所}¥AssetCoordinator6¥webapps¥AssetCoordinator¥log 配下の「version.txt」に記載されています。

SQL Server Management Studio のインストール

事前に以下のサイトから SQL Server Management Studio を入手し、バックアップおよび復元対象の Asset Coordinator 6 のデータベースサーバーへ接続できる環境にインストールする必要があります。

https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=29062

1. 上記のサイトからダウンロードした SQL Server Management Studio のインストールファイルを実行してください。[SQL Server イン ストール センター]画面が表示されます。[新規インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します。]をクリック してください。

1	SQL Server インストール センター – ロ ×
プラン インストール メンテナンス ツール リソース オプション	SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加しま ウイザードを起動して、非クラスター環境に SQL Server 2012 をインストールするか、既存の SQL Server 2012 インスタンスに機能を追加します。 SQL Server 2005、SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 からのアップグレード ウイザードを起動して、SQL Server 2005、SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 を SQL Server 2012 にアップグレードします。
SQL Server 2012	

2. (既にデータベースがインストールされている環境の場合)

[インストールの種類]画面が表示されます。[新規インストールを実行するか共有機能を追加する]を選択し、[次へ]をクリックし てください。

1	SC)L Server 2012 セ	ットアップ		- • ×
インストールの種類 新規インストールを実行するか	、SQL Server 2012の既	字のインスタンスに機能を述	自加します。		
セットアップ サポート ルール インストールの種類 ライセンス条項 機能の選択 インストール ルール 必要なディスク領域 エラーレポート インストール構成ルール インストール構成ルール インストールの進行状況 完了	 SQL Server 2012 の新規インストールを実行する(P) SQL Server の新しいインスタンスをインストールする場合または SQL Server Management Studio や Integration Services などの共有コンポーネントをインストールする場合は、このオブションを選択します。 既存の SQL Server 2012 インスタンスに機能を追加する(A) MSSQLSERVER SQL Server の既存のインスタンスに機能を追加する場合は、このオブションを選択します。たとえば、データベーンジンを含むインスタンスに Analysis Services 機能を追加する場合があります。インスタンス内の機能は同じ ションである必要があります。 インストール済みのインスタンス(I): 				ment Studio や を選択します。 。たどえば、データベース エ ンス内の機能は同じエディ
	インスタンス名	インスタンス ID	機能	エディション	バージョン
	MSSQLSERVER	MSSQL11.MSSQ	SQLEngine,SQLE	. Express	11.2.5058.0
			< 戻る(B) 次へ(<pre>> < (N)</pre>	

3. [ライセンス条項]画面が表示されます。内容をよく読み、よろしければ、[ライセンス条項に同意する。]にチェックし、[次へ]をクリ ックしてください。

1	SQL Server 2012 セットアップ - ロ ×
ライセンス条項 SQL Server 2012をインス	ストールするには、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意する必要があります。
セットアップサポート ルール インストールの種類 ライセンス条項 機能の選択 インストール ルール 必要なティスク領域 エラー レポート インストール構成ルール インストールの進行状況 完了	 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT SQL SERVER 2012 EXPRESS 本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下、「本ライセンス条項」といいます)は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます) との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。本ライセンス条項は、上記の ソフトウェアおよびシノウェアが記録されたメディア (以下総称して「本ソフトウェア」といいます)に適用 されます。また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるも のとします。 更新プログラム 追加ソフトウェア
	こと一(C) 印刷(P) 「ライセンス条項に同意します。(A) 機能の使用状況データを Microsoft に送信します。機能の使用状況データには、ハードウェアの構成や、SQL Server とそのコンポーネントをどのように使用しているかに関する情報が含まれます。(F) 詳細については、Microsoft SQL Server 2012のプライバシーに関する声明を参照してください。
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

4. [機能の選択]画面が表示されます。[管理ツール - 基本]にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックしてください。

1	SQL Server 20)12 セットアップ – ロ ×
機能の選択 インストールする Express 機	能を選択します。	
セットアップ サポート ルール インストールの種類 ライセンス条項 機能の選択 インストール ルール 必要なディスク領域 エラーレポート インストール構成ルール インストールの進行状況 完了	機能(F): <u> 大石操</u> 部	機能の説明: SQL Server インスタンスのインスタンス機能は、 構成と操作が、他の SQL Server インスタンスと は分離されています。SQL Server の複数のイン スタンスを、同じコンビューターでサイドバイサイドで 操作できます。 選択した機能に必要なコンポーネント(P): インストール活み: 「インストール活み: Microsoft .NET Framework 3.5 Microsoft .NET Framework 4.0 メディアからインストール: く
	すべて選択(A) すべて選択解除(U)
	共有機能ディレクトリ(S): 共有機能ディレクトリ (x86)(X):	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥ C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server¥
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルブ

5. [エラーレポート]画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックしてください。インストールが開始されます。

1	SQL Server 2012 セットアップ - ロ 🗙
エラー レポート SQL Server の機能やサービスの	改善への協力。
セットアップ サポート ルール インストールの種類 ライセンス条項 機能の選択 インストール ルール 必要なティスク領域 エラーレポート インストール構成ルール インストールの進行状況 完了	今後のリリースの SQL Server の改善に役立てるために Microsoft に自動的に送信する信報を指定します。これらの 設定はオブションです。この情報は機密情報として取り扱われます。Microsoft Update を通じて更 新を提供し、機能の使用状況テータを変更する場合があります。これらの更新プログラムは、自動更新の設定に応じて 自動的にコンビューターにダウンロードおよびインストールされることがあります。 詳細については、Microsoft SQL Server 2012 のプライバシー に関する声明を参照してください。 Microsoft Update と自動更新の詳細を参照します。 □ Windows および SQL Server のエラー レポートを Microsoft または企業内のレポート サーバーに送信します。 この設定は、ユーザーの介入なしに実行されるサービスのみに適用されます。(W)
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル へルプ

6. インストールが完了すると、[完了]画面が表示されます。[閉じる]をクリックしてください。

1	SQL Serve	- 2012 セットアップ - ロ	X
完了 SQL Server 2012 のイン	ミトールが正常に完了しました: 。		
セットアップ サポート ルール	セットアップ操作または実行可能な	欠の手順に関する情報(I):	
1ノストールの程現 ミイヤンフタ酒	機能	状態	
神能の選択	🔗 管理ツール - 基本	成功	
インストール ルール			
必要なディスク領域			
インストール構成ルール			
インストールの進行状況			
完了	詳細(D):		
	SQL Server の製品ドキュメン	トの表示	^
	SQL Server のドキュメントの表示 は、ヘルプビューアー コンボーネン グライブラリマネージャー コンボー す。詳細については、「 <u>Microsoft</u> <u>Shttp://so.microsoft.com/fwl</u>	と管理に使用するコンポーネントのみがインストールされています。既定: 小はオンライン ライブラリを使用します。SQL Server のインストール後、/ ネントを使用して、ローカル コンピューターにドキュメントをダウンロードでき SQL Server オンライン ブックを使用する nk/?LinkD=224683と」を参照してください。	で \ノル :ま
	I 概要ログファイルの保存先: <u>C:¥Program Files¥Microsoft</u> ¥Summary 3f1wn81x64pro	SQL_Server¥110¥Setup_Bootstrap¥Log¥20151112_020828 1_20151112_020828.txt	
		閉じる へい	1プ

以上で SQL Server Management Studio のインストールは完了です。

バックアップの手順

Asset Coordinator 6 のデータベースをバックアップする手順を説明します。これらのデータには、Asset Coordinator 6 の 設定情報や取り込みを行なったインベントリー情報が格納されています。

【注意】

バックアップを使用して復元する場合、復元先の Asset Coordinator 6の[保存世代 DB 数]と[作成可能クリップボード DB 数]は、 バックアップ時と同じ数にする必要があります。バックアップ時に Asset Coordinator 6の[保存世代 DB 数]と[作成可能ク リップボード DB 数]を確認し、復元先の各 DB の数もバックアップ時と同じであることを確認してください。同じ数ではない場合、 復元に失敗する場合があります。各 DB の数については、Asset Coordinator 6メンテナンスツールで確認することができます。

バックアップの作業概要は以下のとおりとなります。

■作業概要

バックアップ対象の Asset Coordinator 6 に対して、以下の作業を実施します。

- ① Asset Coordinator 6 のサービスを停止する
- ② SQL Server Management Studio を使用して Asset Coordinator 6 のデータベースサーバーに接続する
- ③ SQL Server Management Studio を使用して Asset Coordinator 6 のデータベースをバックアップする
- ④ Asset Coordinator 6 のサービスを開始する

1. 以下の手順に従って、[AssetCoordinator6]サービスを停止してください。

※ AMT サーバーのデータベースと同居している場合、以下の手順で[AMTServer]サービスも停止してください。

1-1. [コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]をクリックしてください。[サービス]ダイアログが表示されます。

◎ サービス					[
ファイル(<u>E</u>) 操作(<u>/</u>	<u>A</u>) 表示(⊻) ヘルプ(且)					
🧼 🧼 📊 🧕 🖬	🖗 🚺 📷 🕨 🖉 🖬 🖬 🚺					
🔍 サービス (ローカ	○. サービス (ローカル)					
	項目を選択すると説明が表示されま	名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン 🔺
	す。	🔅 ActiveX Installe	イン		手動	Local Sy _≡
		🎑 Adaptive Bright	環境		手動	Local Se
		🎑 Application Exp	起動	開始	手動	Local Sy
		🏩 Application Iden	アプ		手動	Local Se
		🔍 Application Info	追加		手動	Local Sy
		🏩 Application Lay	イン		手動	Local Se
		🏩 Application Man	グル		手動	Local Sy
		🌼 AssetCoordinat	Ass	開始	自動	.¥admin
		🌼 Background Int	アイ		手動	Local Sy
		🔍 Base Filtering E	~ -	開始	自動	Local Se
		🌼 BitLocker Drive	BDE		手動	Local Sy
		🌼 Block Level Bac	WB		手動	Local Sy
		🌼 Bluetooth Supp	Blue		手動	Local Se
		🔍 BranchCache	この		手動	Networ
		🔍 Certificate Prop	ユー		手動	Local Sy
		🌼 CNG Key Isolation	CN		手動	Local Sy
		🔍 COM+ Event Sy	サポ	開始	自動	Local Se 🛫
		•				•
< <u> </u>	∖拡張 ⟨標準/					

್ಲಿ サービス						
ファイル(F) 操作(A	A) 表示(V) ヘルプ(H)					
	à 🛃 🛛 📷 🕨 🔲 II II 🕨					
🔍 サービス (ローカ	① サービス (ローカル)					
-	AssetCoordinator6	名前	10 BB	状能	スタートアップの種	類 ログオン ^
	Assetcoordinatoro	ActiveX Installer	12	VOL	手動	Local Sv =
	<u>サービスの停止</u>	Adaptive Brightness	環境		手動	Local Se
	サービスの再起動	Adobe Acrobat U	Ado	開始	自動	Local Sy
		Application Experi	起動	開始	手動	Local Sy
	説明:	🏩 Application Identity	アプ		手動	Local Se
	AssetCoordinator6のWEBアプリ	🔍 Application Infor	追加	開始	手動	Local Sy
	ケーションです。 	🎎 Application Layer	イン		手動	Local Se
		🌼 Application Mana	グル		手動	Local Sy
		🔍 ASP.NET 状態サー	ASP		無効	Networ.
		AssetCoordinator6	Ass	開始	自動	.¥admin
		Background Intell		開始(S)		Local Sy
		Base Filtering Eng		停止(0)		Local Se
		BitLocker Drive E		一時停止(U)	Local Sy
		Block Level Back		円開(≧)		Local Sy
		Bluetooth Suppor	-			Local Se
		Cortificato Propag		すべてのタン	スク(K) ▶	Networ.
		CNG Key Isolation		最新の情報	こ更新(F)	Local Sy
		<		プロパティ	(R)	P P
< Ⅲ ►	∖拡張⟨標準/		_		,	
ローカル コンピュータ	ァー のサービス AssetCoordinator6 を係	尊止します。		ヘレノ(H)		

1-2. [AssetCoordinator6]サービスを停止してください。

2. SQL Server Management Studio を起動し、以下の内容を入力して[接続]をクリックしてください。

・サーバーの種類	: 「データベースエンジン」
・サーバー名	: Asset Coordinator 6 のデータベースサーバーのホスト名または IP アドレス
·認証	:「SQL Server 認証」
・ログイン	: 「sa」
・パスワード	: Asset Coordinator 6 のインストール時に指定した sa Password

e	サーバーへの接続	×
SQL Ser	r ver 2012	
サーバーの種類(T):	データベース エンジン	~
サーバー名(S):	localhost	~
記証(A):	SQL Server 認証	~
ログイン(L):	sa	~
パスワード(P):	*****	
+#/#/	□ パスワードを保存する(M)	
横続に	1 +PJUN AND 879	

- 3. 以下の手順に従って、AssetCoordinatorのデータベースをバックアップしてください。
 - 3-1. [オブジェクト エクスプローラー]に表示されている[データベース]を展開表示し、[AssetCoordinator]を右クリックして表示されるメニューから[タスク]→[バックアップ]をクリックしてください。



3-2. [バックアップ先]にバックアップが作成されます。[バックアップ先]を確認し、[OK]をクリックしてください。変更する場合は 現在指定されているバックアップ先を選択し、[削除]をクリックして削除した後、[追加]をクリックしてバックアップ先を設 定してください。

0	データベースのバックアップ -	AssetCoord	linator	- 🗆 🗙
ページの選択	🔄 スクリプト 👻 📑 ヘルプ			
■ ±ax				
	ジース データベース(T):		AssetCoordinator	~
	復旧モデル(M):		単純	
	バックアップの種類(K):		完全	~
	🔲 コピーのみのバックアップ(Y))		
	バックアップ コンポーネント:			
	● データベース(B)			
	○ ファイルおよびファイル グル	ーブ(G):		
	バックアップ セット ――――	AccetCoordi	n-toru字会 データベーフ Kind	7.01
	2日前(1N): 目的用(c):	AssetCoordi	natorー元王 ノーダイース バック	ry)
	またらからう セットの右が期限			
14.64	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	÷ F	
	○ 日時指定(0):	2015/11/11		
localhost	バックアップ先 ―――			
接続	バックアップ先:	〕ディスク(1)	◎ テーブ(P)	
■2 接続のプロパティの表示	C:¥Program Files¥Microsoft S	iQL Server¥MSS	QL11.MSSQLSERVER¥MSS	追加(D)
	<		>	賞Ⅰ ///(□)
進行状況				11 18400 9
準備完了				内容(C)
1.74.9.5				
			ОК	キャンセル

- 3-3. [オブジェクト エクスプローラー]に表示されている AssetCoordinator 関連のすべてのデータベース(「AssetCoordinator」 から始まるデータベース)について、手順 3-1 から 3-2 を繰り返し、バックアップしてください。
- ※ AMT サーバーのデータベースと同居しており、AMT のデータベースもバックアップする場合は 3-1 から 3-2 の手順で「IAMT」データベースもバックアップしてください。



3-4. 手順 3-2 で指定したバックアップ先にバックアップが作成されていることを確認してください。

🎉 l 💽 🚺 👳 l	Backup			- 🗆 🗙
ファイル ホーム 共有	表示			~ ()
🔄 🏵 🔹 🕇 🚺 « M:	SSQL11.MSSQLSERVER > MSSQL > Backup	>	; Backupの検索	م م
☆ お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ
🍺 ダウンロード	AssetCoordinator.bak	2015/11/11 18:11	BAK ファイル	4,311 KB
📰 デスクトップ	AssetCoordinator_clipboard1.bak	2015/11/11 18:12	BAK ファイル	2,647 KB
週 最近表示した場所	AssetCoordinator_current.bak	2015/11/11 18:12	BAK ファイル	5,803 KB
	AssetCoordinator_current_temp.bak	2015/11/11 18:12	BAK ファイル	3,235 KB
pe PC	AssetCoordinator_gn_temp.bak	2015/11/11 18:13	BAK ファイル	2,647 KB
	AssetCoordinator_gnDB1.bak	2015/11/11 18:12	BAK ファイル	5,219 KB
👽 ネットワーク	AssetCoordinator_gnDB2.bak	2015/11/11 18:12	BAK ファイル	2,647 KB
Distroscipto par	AssetCoordinator_master.bak	2015/11/11 18:14	BAK 7711	2,647 KB
	AssetCoordinator_temp.bak	2015/11/11 18:14	BAK ファイル	2,912 KB
9 個の項目				

- 4. 以下の手順に従って、[AssetCoordinator6]サービスを開始してください。
 - ※ AMT サーバーのデータベースと同居している場合、以下の手順で[AMTServer]サービスも開始してください。

4-1. [コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]をクリックしてください。[サービス]ダイアログが表示されます。

◎ サービス						
ファイル(<u>E</u>) 操作(<u>/</u>	<u>A)</u> 表示(Y) ヘルプ(H)					
	🛓 👔 🖬 🛛 🖌 🗰 🖬 🕪					
🔍 サービス (ローカ	◎ サービス (ローカル)					
	項目を選択すると説明が表示されま	名前	説明	状態	スタートアップの種類	i ログオン 🔺
	ਰ .	🔍 ActiveX Installe	イン		手動	Local Sy =
		🔍 Adaptive Bright	環境		手動	Local Se
		🔍 Application Exp	起動	開始	手動	Local Sy
		🔍 Application Iden	アプ		手動	Local Se
		🔍 Application Info	追加		手動	Local Sy
		🔍 Application Lay	イン		手動	Local Se
		🔍 Application Man	グル		手動	Local Sy
		🏩 AssetCoordinat	Ass	開始	自動	.¥admin
		🔍 Background Int	アイ		手動	Local Sy
		🔍 Base Filtering E	<\$−	開始	自動	Local Se
		🏩 BitLocker Drive	BDE		手動	Local Sy
		🔍 Block Level Bac	WB		手動	Local Sy
		🔍 Bluetooth Supp	Blue		手動	Local Se
		🔍 BranchCache	この		手動	Networ
		🔍 Certificate Prop	ב		手動	Local Sy
		🔍 CNG Key Isolation	CN		手動	Local Sy
		🔍 COM+ Event Sy	サポ	開始	自動	Local Se 🖕
		•		III		- F
<	└拡張 標準/					

4-2. [AssetCoordinator6]サービスを開始してください。

◎ サービス					, • 💌
ファイル(F) 操作(A	A) 表示(V) ヘルプ(H)				
	à 🛃 🛛 📷 🕨 🔲 II IV				
🔍 サービス (ローカ	○ サービス (ローカル)				
	AssetCoordinator6	名前	説明 状態	スタートアップの種類	ログオン ^
		🔍 ActiveX Installer (イン	手動	Local S ≡
	<u>サービスの開始</u>	Adaptive Brightness	環境	手動	Local Se
		🔍 Adobe Acrobat Up	Ado 開始	自動	Local Sy
		Application Experi	起動	手動	Local Sy
	AssetCoordinator6のWEBアプリ	🏩 Application Identity	アプ	手動	Local Se
	ケーションです。	🌼 Application Inform	追加 開始	手動	Local Sy
		🌼 Application Layer	イン	手動	Local Se
		🎎 Application Manag	グル	手動	Local Sy
		🔍 ASP.NET 状態サー	ASP	無効	Networ.
		🔅 AssetCoordinator	開始(<u>S</u>)		.¥admir
		Background Intell	停止(<u>0</u>)		Local Sy
		Base Filtering Eng	一時停止(<u>U</u>)		Local Se
		🔍 BitLocker Drive Er	再開(<u>M</u>)		Local Sy
		🔍 Block Level Backu	再起動(<u>E</u>)		Local Sy
		Bluetooth Support	すべてのタフ	ク(K)	Local Se
		SranchCache	3. (CO)3/		Networ.
		Certificate Propag	最新の情報に	更新(<u>F)</u>	Local Sy
		CNG Kev Isolation	プロパティ(<u>F</u>	<u>()</u>	Local Sv *
< III +	│ 拡張 〈標準 /		ヘルプ(<u>H</u>)		
ローカル コンピュータ	ァー のサービス AssetCoordinator6 を	開始します。			

以上でバックアップの手順は完了です。

復元の手順

Asset Coordinator 6 のデータベースを復元する手順を説明します。

バックアップの手順で作成したバックアップを使用して、Asset Coordinator 6のデータベースを復元します。これにより、バックアップ時の Asset Coordinator 6の設定情報や取り込みを行なったインベントリー情報が復元されます。

【注意】

・バックアップを使用して復元する場合、バックアップ時の Asset Coordinator 6 と復元先の Asset Coordinator 6 のバージョンが 同じである必要があります。バージョンが異なった Asset Coordinator 6 に復元した場合、正常に動作しませんのでご注意ください。

バージョン情報は、{Asset Coordinator 6 インストール場所}¥AssetCoordinator6¥webapps¥AssetCoordinator¥log 配下の「version.txt」に記載されています。

・バックアップを使用して復元する場合、復元先の[保存世代 DB 数]と[作成可能クリップボード DB 数]は、バックアップ時の Asset Coordinator 6 と同じ数にしてください。同じ数ではない場合、復元に失敗する場合があります。各 DB の数の設定につい ては、インストーラーや Asset Coordinator 6 メンテナンスツールで行なうことができます。

復元の作業概要は以下のとおりとなります。

■作業概要

復元先の Asset Coordinator 6 に対して、以下の作業を実施します。

- ① (新サーバーの Asset Coordinator 6 にデータ移行をする場合)新サーバーに Asset Coordinator 6 を新規インストールする
- ② Asset Coordinator 6 のサービスを停止する
- ③ SQL Server Management Studio を使用して Asset Coordinator 6 のデータベースサーバーに接続する
- ④ SQL Server Management Studio を使用して Asset Coordinator 6 のデータベースを復元する
- ⑤ Asset Coordinator 6 のサービスを開始する
- (新サーバーの Asset Coordinator 6 にデータ移行をする場合のみ必要) バックアップ時の Asset Coordinator 6 と同じバージョンの製品メディアを使用して、新サーバーに Asset Coordinator 6 を新規イ ンストールしてください。 インストール手順は、Asset Coordinator 6 インストーラーヘルプをご参照ください。

【データベースが AMT サーバーと同居している場合の注意】 新サーバーにおいても同居する場合、新サーバーに同居した環境を構築してください。同居した環境の構築方法については、以 下のページの[動作環境に関して]→[Asset Coordinator サーバと AMT サーバの同居はできますか?]の情報をご参照ください。

https://www.jalinfotec.co.jp/product/pallet/ac6/support.html

2. 以下の手順に従って、[AssetCoordinator6]サービスを停止してください。

※ AMT サーバーのデータベースと同居している場合、以下の手順で[AMTServer]サービスも停止してください。

2-1. [コントロール	パネル]→[胷	「理ツール]→[サ	・ービス]をクリックし	てください。[サート	ビス]ダイアログが表示されます。
--------	--------	---------	-----------	-------------	------------	------------------

◎ サービス						- • •
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(⊻) ヘノレプ(且)					
	è 🛛 🖬 🕨 🖉 🖬 🕪					
🔍 サービス (ローカ	♀ サービス (ローカル)					
	項目を選択すると説明が表示されま	名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン 🔺
] ਰ .	🔍 ActiveX Installe	イン		手動	Local Sy =
		🔍 Adaptive Bright	環境		手動	Local Se
		🔅 Application Exp	起動	開始	手動	Local Sy
		鵒 Application Iden	アプ		手動	Local Se
		🎑 Application Info	追加		手動	Local Sy
		🏩 Application Lay	イン		手動	Local Se
		🎑 Application Man	グル		手動	Local Sy
		🔍 AssetCoordinat	Ass	開始	自動	.¥admin
		🔍 Background Int	アイ		手動	Local Sy
		🍓 Base Filtering E	~ −	開始	自動	Local Se
		🔍 BitLocker Drive	BDE		手動	Local Sy
		🔍 Block Level Bac	WB		手動	Local Sy
		🍓 Bluetooth Supp	Blue		手動	Local Se
		🔍 BranchCache	この		手動	Networ
		鵒 Certificate Prop	ב		手動	Local Sy
		🌼 CNG Key Isolation	CN		手動	Local Sy
		🔍 COM+ Event Sy	サポ	開始	自動	Local Se 🛫
		•				•
• III •	│ 拡張 〈標準 /					

2-2. [AssetCoordinator6]サービスを停止してください。

◎ サービス						
ファイル(F) 操作(A	A) 表示(V) ヘルプ(H)					
	à 🗟 🛛 🖬 🕞 🖬 🖬 🕨					
🔍 サービス (ローカ	○ サービス (ローカル)	_				
	AssetCoordinator6	名前	説明	状態	スタートアップの種類	頃 ログオン 🔺
		🔍 ActiveX Installer	イン		手動	Local Sy ≡
	サービスの停止	🌼 Adaptive Brightness	環境		手動	Local Se
	サービスの再起動	🔍 Adobe Acrobat U	Ado	. 開始	自動	Local Sy
		🔍 Application Experi	起動	. 開始	手動	Local Sy
	説明:	🔍 Application Identity	アプ		手動	Local Se
	AssetCoordinator6のWEBアプリ	🔍 Application Infor	追加	. 開始	手動	Local Sy
	ケーションです。	🔍 Application Layer	イン。		手動	Local Se
		🔍 Application Mana	グル		手動	Local Sy
		🔍 ASP.NET 状態サー	ASP		無効	Networ.
		🔅 AssetCoordinator6	Ass	開始	自動	.¥admin
		🎑 Background Intell	_	開始(S)		Local Sy
		🔍 Base Filtering Eng		停止(O)		Local Se
		🔍 BitLocker Drive E		一時停止(U		Local Sy
		🔍 Block Level Back		再開(M)		Local Sy
		🔍 Bluetooth Suppor		再起動(E)		Local Se
		🔍 BranchCache		すべてのタ	スク(K) ・	Networ.
		🔍 Certificate Propag		日本の佳却		Local Sy
		CNG Kev Isolation		町東新市のジョード取	(= 史新(F)	Local Sv 🔻
		•	-	プロパティ	(R) =	4
	↓10J馬八冊竿/ ユーのサービス AccotCoordinators たん	きょう キャン・キャン・ション	-	ヘルプ(H)	-	
U- <i>DIV</i> 3263-6	ー のサービス AssetCoordinator6 を	亭圧しまり。				

3. SQL Server Management Studio を起動し、以下の内容を入力して[接続]をクリックしてください。

・サーバーの種類	:「データベースエンジン」
・サーバー名	: Asset Coordinator 6 のデータベースサーバーのホスト名または IP アドレス
・認証	:「SQL Server 認証」
・ログイン	: 「sa」
・パスワード	:Asset Coordinator 6 のインストール時に指定した sa Password

	サーバーへの接続	×
SQL Ser	'Ver '2012	
サーバーの種類(T):	データベース エンジン	¥
サーバー名(S):	localhost	~
記記正(A):	SQL Server 認証	~
ログイン(L):	sa	~
パスワード(P):	****	
	パスワードを保存する(M)	
) キャンセル ヘルプ オプショ	>(0) >>

- 4. 以下の手順に従って、AssetCoordinatorのデータベースを復元してください。
 - 4-1. [オブジェクト エクスプローラー]に表示されている[データベース]を展開表示し、[AssetCoordinator]を右クリックして表示されるメニューから[タスク]→[復元]→[データベース]をクリックしてください。



y	データベースの復元
🐼 復元するバックアップ セットが追	羅択されていません。
ページの選択 雪 全般 雪 ファイル 雪 オブション	S スクリプト - I ≧ ヘルプ ソース ○ データペース(D): ● デバイス(E): データペース(A):
	データベース(B): マ 復元先(R): タイムライン(T) 復元プラン 復元するJ(ックアップ セット(C): 復元 名前 コンボーネント 型 サーバー データベース 位置 最初の LSN 最後の LSN チェックボイントの LSN
+a/±	
歸称 郠 localhost [sa]	
接続のプロパティの表示	
進行状況	
準備完了	< <p>く メディアの検証(V)</p>
	OK ≠r>セル ヘルプ

4-3. [追加]をクリックしてください。

-	バックアップ デバイスの選択	- 🗆 🗙
復元操作を行うバックアップ メデー	ィアとその場所を指定します。	
バックアップ メディアの種類(B): バックアップ メディア(M):	771/1/ V	
		追加(A)
		育川\$余(R)
		内容(T)
	OK(0) ++>t	211 1.17

4-4. バックアッフで作成したファイルを	を選択し、[OK]をクリックしてください。
じ バックアップ こ	ファイルの検索 - 3F1WN81X64PRO-1 - ロ ×
バックアップ ファイルの場所(L): C:¥Program	n Files¥Microsoft SQL Server¥t
Common Files Internet Explorer MSBuild Microsoft Help Viewer Microsoft SQL Server Microsoft SQL Server Microsoft SQL Server Microsoft MSSQL MSSQL MSSQL MSSQL MSSQL MSSQL Microsoft NET Microsoft Visual Studio 10.0 Microsoft Visual St	AssetCoordinator_clipboard1bak AssetCoordinator_clipboard1bak AssetCoordinator_current_tempbak AssetCoordinator_gnDB1bak AssetCoordinator_gnDB2bak AssetCoordinator_gn_tempbak AssetCoordinator_masterbak AssetCoordinator_tempbak
77170-E(N). Hisset000rdinate	OK(O) キャンセル(C)

4-5. [復元するバックアップ セットの選択]欄から手順 4-4 で追加した復元するバックアップをチェックし、[OK]をクリックしてく ださい。[復元先データベース]と復元するバックアップの[データベース]が同じでないとエラーが発生します。

1 28	データベー	ースの復元 - AssetCoordinator - ロ ×
🕕 準備完了		
ページの選択	ぷスクリプト ・ 1♪ヘルプ	
 ☆ 全般 ☆ ファイル ☆ オブション 	y-ス ○ データペース(D): ④ デバイス(E): データペース(A): 転送先 データペース(B): 復元だ(R): 復元だう> 復元だう> 復元でうか/ウッグでット(C): 復元、名前	 C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL11.MSSQLSERVER¥MSS … AssetCoordinator AssetCoordinator 最後に作成されたパックアップ (2015年11月11日 18:11:32) タイムライン(T)…
接続 副 localhost [sa] 接続のプロパティの表示	AssetCoordinator-3	完全 データベース パックアップ データベース 完全 3F1WN81X64PRO-1 AssetCoordinator
<u>進行</u> 状況 ② 売了	٢	> バックアップ メディアの検証(V)
		OK キャンセル ヘルプ

※ [OK]がグレーアウトされている場合は、[バックアップメディアの検証]をクリックし、画面上部に[バックアップメディアの検証 に成功しました]と表示されたことを確認してから、[OK]ボタンをクリックしてください。

<u></u>	_	データベースの	復元 - AssetCoordi	nator			- 🗆 🗙
🕕 バックアップ メディアの検証に成功しまし	た						
ページの選択	לעלג 🖾	・ ・ 🖺 ヘルプ					
∴ アイル ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・	ソース						
	0	データベース(D):					\checkmark
	•	デバイス(E):	4SSQL11.MSSQLSER	VER¥MSSQL¥	Backup	¥AssetCoordinator.bak	
		データベース(A):	AssetCoordinator				~
	転送先						
	デー	タベース(B):	AssetCoordinator				~
	復元	ē先(R):	最後に作成されたバックア	yプ <mark>(</mark> 2015年11)	月11日	18:11:32) 91.	ムライン(T)
	復元プ	ラン ―――					
	復元了	するバックアップ セット(C):					
	復元	名前		コンポーネント	型	サーバー	データベース
		AssetCoordinator-完	全 データベース バックアップ	データベース	完全	3F1WN81X64PRO-1	AssetCoord
接続							
🛃 localhost [sa]							
接続のプロパティの表示							
進行状況							
② 完了							
Ŭ	<						>
						バックアップ メディ	アの検証(V)
					ОК	キャンセル	ٹرر ۸

※ 以下のエラーが発生した場合は、上記の画面の[ページの選択]から[オプション]をクリックして表示される画面で、[既存 のデータベースを上書きする]をチェックしてから、[OK]をクリックして復元を実行してください。 このエラーは、Microsoft SQL Server 2008 R2 Management Studio Express にて確認されました。

ent Studio		— ×-		
の復元に失敗しました。 (Microsoft.SqlSer SqlError: バックアップ セットは、既存のデータ fl保持しています。 (Microsoft.SqlServer.Sm	ver.SmoExtended) ベース 'AssetCoordinato o)	r' 以外のデ		
		ОК		
Coordinator				
_ スクリプト 👻 📑 ヘルプ				
復元オブション	する (WITH REPLACE する (WITH KEEP_RE			
 各バックアップを復元する前に 復元するデータベースへのアク 次のデータベース ファイルに復元(確認する(<u>R</u>) セスを制限する (WITH <u>S</u>):	I RESTRICTED_US	ser)(<u>c</u>)	
元のファイル名	ファイルの種類	復元先		
AssetCoordinator AssetCoordinator_log	עד קד טים טים	C:#Program Fi	les¥Microsoft S les¥Microsoft S	
復日状態				
◎ コミットされていないトランザクシ のトランザクション ログは復元で	ョンをロールバックして、 ごきません。(L)(RESTC	データベースを使用)RE WITH RECOV	可能な状態にする。別 ERY)	
● データベースは操作不可状態 別のトランザクション ログは援え	のままで、コミットされて 亡できます。(<u>A</u>)(REST)	いないトランザクション ORE WITH NOREC	ンはロールバックしない。 COVERY)	
データベースを読み取り専用刊 ◎ が、復旧結果を元に戻せるよ (V)(RESTORE WITH STAN	ミードにする。コミットされ りに元に戻す操作をスタ DBY)	いていないトランザクシ シバイ ファイルに住宅	/ョンは元に戻されます 存します。	
スタンバイ ファイル(工):				
・ フリニキコトのマップだし、ビ				
・ト、再構築、またはリセッ	ヘノショノリニハニノ トのどの操作を実行する	ロハティル、ノルテキ るかを制御します。	AF 1 JF 99A01 J7	
		Ок	++>セル	
	nt Studio の復元に失敗しました。(Microsoft SqSer SqErnor: / シックアッフ セットは、既存のデーッ Ef保持しています。(Microsoft SqServer.Sm こころのrdinator こころクリプト マ ふ ヘルプ 復元オブション ② 既存のデータベースを上書きる レッリケーションの設定を保存 合 お(シックアックを復元する前に1 ③ ほんするデータベースへのアク 次のデータベース ファイルに復元 元のファイル名 AssetCoordinator AssetCoordinator AssetCoordinator AssetCoordinator のトランザグション ログは復元 ③ データベースを読み取り専用 新、須田谷県を元に戻せるよう (父人RESTORE WITH STAN スタンパイ ファイルC) ③ フルテキストのアップグレード 一下、再構築、またはリセッ	ent Studio	Int Studio ▲ の復元に失敗しました。(Microsoft.SqlServer.SmoExtended) SqlErnor: /\pb/Py7 t2y k1. 既存のデータベース 'AssetCoordinato' 以外のデ fg得わしています。(Microsoft.SqlServer.Smo) CK CCoordinator スクリプト ▼ ▲ ヘルプ 復元オブション 図 既存のデータベースを上書きする(WITH REPLACEXQ) レグリケーションの設定を保存する(WITH REPLACEXQ) ● おいシアップを復元する前に確認する(B) (復元するデータベースを上書きする(WITH REPLACEXQ) ● なりシアップを復元する前に確認する(B) (復元するデータベーススレースへのアクセスを制限する(WITH RESTRICTED_US) 次のデータベース ファイルに復元(S): 元のファイル-2 アクリース AssetCoordinator 「ガデータ AssetCoordinator 「ガデータ (第ロジャンカンジョンの対策定できます。(L)(RESTORE WITH RECOV アイルションの対策復元できます。(A)(RESTORE WITH RECOV アータベースは操作不可状態のままで、コミットされていないトランザジョン の、データベースは操作不可状態のままで、コミットされていないトランザジョン の、加トランザジョン アイルC (1) アレースを読み取り専用モードにする。コミットされていないトランザジョン ア・パンマイルC (1) アルテキストのアップダレード オフジョン サーバー プロ/ディは、フルテキストのア アルテキストのアップグレード オフジョン サーバー オロ/ディは、フルテキストのア	

4-6.「復元に成功しました。」とメッセージが表示されたら[OK]をクリックします。



- 4-7. [オブジェクト エクスプローラー]に表示されている AssetCoordinator 関連のすべてのデータベース(「AssetCoordinator」 から始まるデータベース)について、手順 4-1 から 4-6 を繰り返し、復元してください。
- ※ AMT サーバーのデータベースと同居しており、AMT のデータベースも復元する場合は 4-1 から 4-6 の手順で「IAMT」デー タベースも復元してください。

Ч <u>е</u> 1	Microsoft SQL Server Management Studio		×
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) デバッグ(D) ツール(T)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		
: 🔄 🕶 🖅 😹 🍠 🔔 新しいクエリ(N) 🎲 🎲	B → ○ C + ○ C + □, □, □, □, □, □, □, □, □, □, □, □, □,	~	
オブジェクト・エクスプローラー・・サー× 接続・ジョン・ローン 1000000000000000000000000000000000000			
準備完了			

- 5. 以下の手順に従って、[AssetCoordinator6]サービスを開始してください。
 - ※ AMT サーバーのデータベースと同居している場合、以下の手順で[AMTServer]サービスも開始してください。

5-1	. [コントロールパネル]-	→[管理ツール]→[サ	・―ビス]をクリックしてください。	。[サービス]ダイフ	Pログが表示されます。

· ジ サービス				l			
ファイル(E) 操作(A) 表示(Y) ヘルプ(H)							
◎ サービス (ローカ. ○ サービス (ローカル)							
項目を選択すると説明が表示されま	名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン 🔺		
す。	🔅 ActiveX Installe	イン		手動	Local Sy =		
	🌼 Adaptive Bright	環境		手動	Local Se		
	🔍 Application Exp	起動	開始	手動	Local Sy		
	🔍 Application Iden	アプ		手動	Local Se		
	🔍 Application Info	追加		手動	Local Sy		
	🍓 Application Lay	イン		手動	Local Se		
	🍓 Application Man	グル		手動	Local Sy		
	🔍 AssetCoordinat	Ass	開始	自動	.¥admin		
	🎑 Background Int	アイ		手動	Local Sy		
	鵒 Base Filtering E	−</th <th>開始</th> <th>自動</th> <th>Local Se</th>	開始	自動	Local Se		
	🔍 BitLocker Drive	BDE		手動	Local Sy		
	🔍 Block Level Bac	WB		手動	Local Sy		
	🎑 Bluetooth Supp	Blue		手動	Local Se		
	🍓 BranchCache	この		手動	Networ		
	🍓 Certificate Prop	ユー		手動	Local Sy		
	🔍 CNG Key Isolation	CN		手動	Local Sy		
	🔍 COM+ Event Sy	サポ	開始	自動	Local Se 🚽		
	•		111		•		
< Ⅲ → \拡張 /標準/							

、 ジッサービス - □ ■ ■ ■						
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🔍 サービス (ローカ	◎ サービス (ローカル)					
	AssetCoordinator6	名前	説明 状態	スタートアップの種類	ログオン 🔺	
		🔍 ActiveX Installer (イン	手動	Local S _l ≡	
	<u>サービスの開始</u>	🌼 Adaptive Brightness	環境	手動	Local Se	
		🌼 Adobe Acrobat Up	Ado 開始	自動	Local Sy	
		🏩 Application Experi	起動	手動	Local Sy	
	AssetCoordinator6のWEBアプリ	鵒 Application Identity	アプ	手動	Local Se	
	ケーションです。	🏩 Application Inform	追加 開始	手動	Local Sy	
		🏩 Application Layer	イン	手動	Local Se	
		🏩 Application Manag	グル	手動	Local Sy	
		🔍 ASP.NET 状態サー	ASP	無効	Networ.	
		Carl AssetCoordinator	開始(<u>S</u>)		.¥admir	
		🔍 Background Intel	停止(0)		Local Sy	
		🔍 Base Filtering Eng	一時停止(<u>U</u>)		Local Se	
		BitLocker Drive Er	再開(<u>M</u>)		Local Sy	
		🔍 Block Level Backu	再起動(E)		Local Sy	
		Bluetooth Support	すべてのタフク	7(K)	Local Se	
		SranchCache	9. (C0)9,()		Networ.	
		Certificate Propag	最新の情報に更	ē新(E)	Local Sy	
		CNG Kev Isolation	プロパティ(<u>R</u>)		Local SV *	
• III •	∖拡張⟨標準/		ヘルプ(<u>H</u>)			
ローカル コンピュータ	ァー のサービス AssetCoordinator6 を	開始します。				

5-2. [AssetCoordinator6]サービスを開始してください。

以上で復元の手順は完了です。

Asset Coordinator 6 にログインし、バックアップ時の Asset Coordinator 6 の設定情報や取り込みを行なったインベントリー情報が復元されていることを確認してください。

ご不明な点やご質問等がございましたら下記アドレスまでご連絡ください。 メールお問い合わせ先; pallet@jalinfotec.co.jp



Copyright(C) JAL Information Technology Co.,Ltd